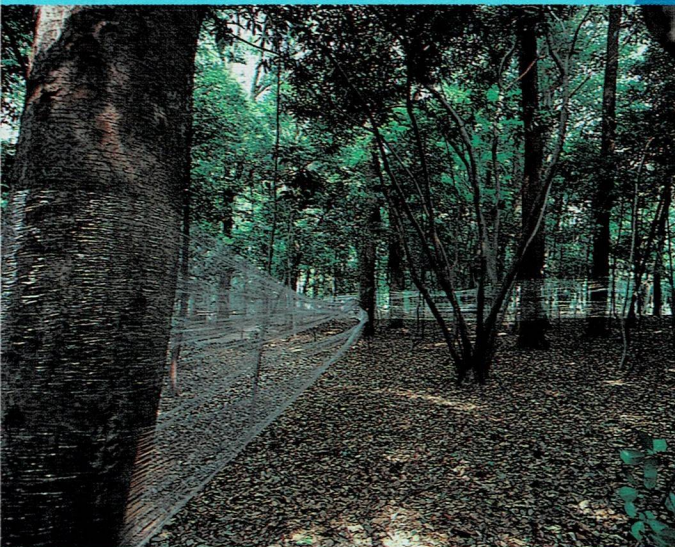
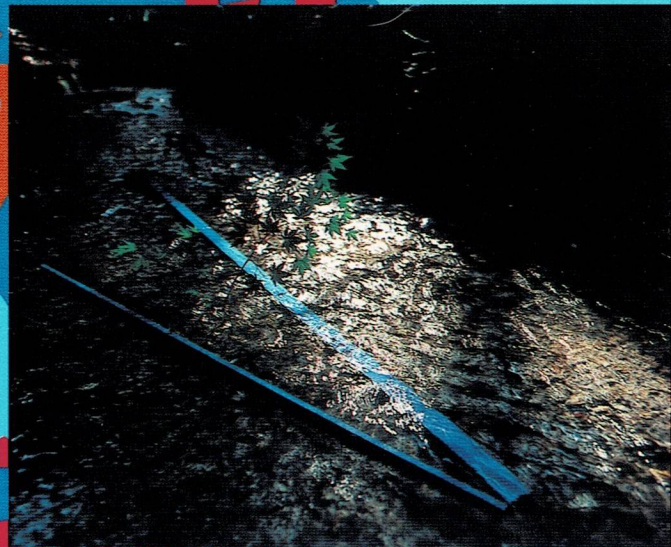


けまな Note works

No.11



工藤 亜美



和田 高甫

代神 け宮



高瀬 美佐甫 / 木川 博甫

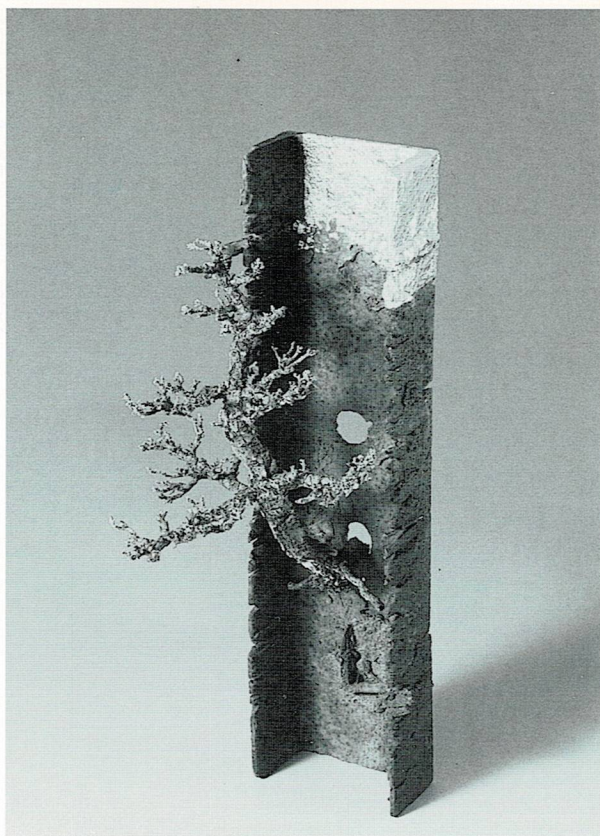


山内 瀬舟

いけばなミュージアム

福永 八千代

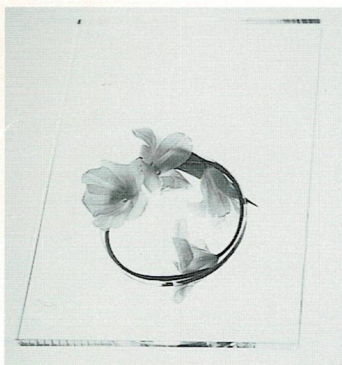
Vol ①



▲花材：鉄、松、金箔、苔

花の持つ精神性と息づかに魅せられ、気付くと花を通じて広がりをもった大きな輪の中にいる。日本固有の伝統文化、芸術である「いけばな」の伝承と作家独自の創造性を持つ「現代いけばな」が共に重要な意味合いで存在するこの場所が、次の一歩を踏み出す学びの場となっている。作品に向き合う姿勢こそが自己の表現であり、自己確認であると思う。

□今号より会員の作品を紹介してまいります



▶花材：アクリル、チューリップ

(ふくなが やちよ)

小原流和歌山支部副支部長、和歌山県美術家協会理事、現代いけばな“紀の国展”事務局、造形グループ“庵バランス”代表、(財)日本いけばな芸術協会正会員、NPOいけばなworks正会員

浜名湖花博

大地の恵み現代いけばなアート展

〔助〕静岡国際園芸博覧会協会主催の「浜名湖花博」が、四月八日から十月十一日の会期にて現在開催されており、入場者も予想を上回るほどの盛況ぶりで大変注目を集めておりますが、いけばなworksでは、国際花の交流館にて標記のイベントを十ブース使い開催致します。テーマは「大地の恵み」とし、全国十都府県より集まったフラワーデザイナーやいけばな作家たちが独自の表現で様々なアートを展開してゆきます。現代、そして未来を模索する植物表現の世界をお楽しみ頂きたい、ご来場お待ちしております。

〔日時〕平成十六年九月四日(土)～十二日(日) 九時半～十七時半

〔会場〕国際花の交流館 短期出展①

〔出品者〕

東 敦子(大阪) 安藤由香(愛知)

飯尾美雲(静岡) 生駒粹真(東京)

岩田佳川(東京) 岩間美弓(東京)

内山寿峰(千葉) 江原京子(東京)

鶴納理幸(埼玉) + 桑折理菜葉(埼玉)

小倉真香(和歌山) 尾崎雅子(京都)

加賀友紀子(愛知) 加藤大樹(埼玉)

神澤映薫(埼玉) 木下岬雲(東京)

菊池広美(東京) 熊野一寛(東京)

熊野一虹(東京) 児玉香蓮(静岡)

小邑理晴(静奈川) 杉田白雲(静岡)

鈴木理美(静岡) 富永莊雲(静岡)

豊田文香(新潟) 橋本雅史(和歌山)

平山さつき(埼玉) 松山勝甫(静岡)

広瀬理晶(埼玉) + 佐藤理典(埼玉)

福永八千代(和歌山) 山中瀬舟(静奈川)

芳整理鳳(埼玉) + 中村理節(埼玉)

横山恵理子(新潟) 和田高甫(大阪)

和田俊雪(千葉) 渡邊華靖(東京)

*敬称略 順不同 +は合作 以上38名35作
会期中併催PRブース

〔日時〕平成十六年九月四日(土)～十日(金) 九時半～十七時半

〔会場〕国際花の交流館 パザールスペース

〔参加団体〕ロイヤルフラワースクール、未生流総家、華道馨心流、創美流華道、いけばなworks

※本会にて、前売り入場券の取り扱いもしております(一般2900円、シニア2000円)

↓1800円)ので事務局までお問い合わせください。



社団法人 華道末生流 総家
家元 和田高甫

〒541-0043 大阪市中央区高麗橋 2-5-15
Tel (06)-6231-1881 Fax (06)-6231-4127
(URL) <http://www.ikebana.co.jp>
(E-mail) info@ikebana.co.jp

『メイ・ポール』



(かねこ よしみつ)

國學院大學神道文化学部講師 國學院大學大学院文学研究科神道学専攻博士課程修了
儀礼文化学会運営委員・現代神社と実務研究会常任理事・神道宗教学会理事

諏訪大社の御柱(おんばしら)が行われた。大木は境内に立てる。ヨーロッパにはメイ・ポールがある。文字通り「5月に立てる柱」だ。藁や草葉で飾り広場に立てて遊ぶ。中国や東南アジアにも似た行事がある。ケルト族のように森を神聖な場所と考えた人々の残したものであろうか。龍田風神祭祝詞(たつたかぜのかみののりと)に「いつの時代のことか農作物の実らぬ年が続いた。占いの専門家である卜部(うらべ)が占ったが判然としない。ところが誓約(うけい)をした天皇の御夢に神々が現れ出て神名を明かした。天乃御柱命・国乃御柱命(あめのみはしらのみこと・くにのみはしらのみこと)云々」とある。風の神だから竜巻でそれを神秘と感じて「御柱」と呼んだのだ。神名の核は「柱」だが風神の名であるところが面白い。古い建造物には心柱(しんばしら)があり、伊勢神宮の御正殿にも心の御柱(しんのみはしら)がある。こちらは建物を支える柱ではない。神社祭祀で用いる神籬(ひもろぎ)と似た意味があるようだ。神籬とは神(さかき)に神垂(しで)を垂らしてあるもので、地鎮祭などで祭壇正面に据えて神を招く生木である。古事記・日本書紀の神話には「天の岩戸に籠りなされた天照大御神(あめてらすのおおみかみ)を引き出し申し上げようと、天児屋命(あめのこやねのみこと)や太玉命(ふとだまのみこと)という神々が天の真神を根こじ(根のあるまま引き抜く)にして祝詞を上げた」とある。右に見た「柱」は祭りの場に立てた常緑樹の名残である。これを用いて神が降りて来なさと考えた。「柱」は建物の一部と見なし、ここに神がお休みになると見た。大嘗宮(だいじょうきゅう)にも通じる(臨時の神殿で祭りの後は解体されるものが大嘗宮で、天皇様が御即位の後にここでなされる一代一度の祭祀を大嘗祭(だいじょうさい)と言う)。広場に棒を立て藁や草葉で飾ってその周りで遊ぶ西洋の習慣は古い共通信仰の名残なのであろう。

お知らせ 日本伝統文化 茶華道レツスン

本会では、独立行政法人 国立オリンピック記念青少年総合センターの平成十六年度子どもゆめ基金助成金より、子ども体験活動助成を受け、標記の活動を開催することとなりました。

ここでは、日本の伝統文化を体験、習得させる機会を提供し、地域において子どもたちの関心、理解を深めることを目的に、和の空間にて伝統的な礼儀作法を通じて茶の湯の基本と盛花を一日実技習得する教室を左記の通り開催致します。

日時・平成十六年八月四日(水)・五日(木) 10時～15時
会場・創美流華道會館 二階 茶室・和室
募集対象・都内在住の小・中・高校生
募集定員・1日10名 延べ二十名
募集分野・交流体験活動

助成金・十九四、〇〇〇円
参加費・一人二、〇〇〇円(道具代・保険料)
活動経費総額・二四〇、六〇〇円

BOOK紹介

百花草木 春夏秋冬

昨年十月に榎学習研究社発行、(有)茶華企画編集によるいけばな作品集が発行されました。春夏編として七十四名の華道家、八十二作品が紹介されています。今後、秋冬編も出版予定されています。定価は六、〇〇〇円。詳しくは左記までお問い合わせ下さい。

いけばな伝統文化社 ☎〇三(三二六三)七三八〇



歴史研究

歴史研究会ご入会のおさそい
◎歴史研究会はいわゆる学術団体ではありません。「歴史を楽しむ広場」作りをしている全国歴史愛好家のための文化機関です。歴史好きのあなたにお役に立ちたく、いろいろとプランを考えています。是非ともご入会いただきたくお誘いいたします。
★見本として、雑誌『歴史研究』を贈呈します。下記へご連絡ください。
歴史研究会事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田2-14-10 五反田ハイム504
TEL 03 (3779) 3127/FAX 03 (3779) 5063



社団法人 華道 瑩心会

東京都渋谷区恵比寿南1-12-1 ☎・FAX03 (3713) 3730
http://homepage2.nifty.com/eishinkai/



近江神宮の森 野外現代いけばな展

昨年まで三年間にわたり鎌倉宮で開催してまいりました野外展を、本年は日本の中心地でもある古都大津京ゆかりの神域である近江神宮にて、初めてチャレンジされる方から、いけばな作家、家元まで様々な立場で活動している四十四名が全国十都府県より集まり、四十二作（直前に1名怪我により不出品）を五月一日から五日まで開催展示致しました。本誌にて、全出品作と報道紙面にて紹介されました内の一部を掲載ご紹介致します。なお、本展はBBCびわ湖放送、滋賀ケーブルネットワークにもオンエアされました。

会期中は全般的に天候にも恵まれ、四日の大雨にて多少作品が移りゆくものもありましたが、広大な神域の内、小川、森林、砂利、石段など様々な場で展開された作品は多くの方々の関心呼びました。また、一日初日、開催奉告祭終了後の懇親会は、和田高甫の司会により近江神宮宮司、いけばなworks代表の挨拶と共に、いけばなネットワーク21京都より大津光章先生に御挨拶を頂き賑やかに開催されました。明年も同様開催を予定しています、スペースが広く、大きな作品も展開出来ますので、是非とも立場・流派を超えてのご参加をお待ちしております。（本誌に出品目録を付しておりますので、合わせて御覧下さい。）本事業について別に報告書を作成しています。作品は本冊子表一、表四、三頁、四頁にて紹介させていただきます。

写真・川中啓一



船内の水中に彫られる水掛け

近江神宮の森 野外現代いけばな展
自然舞台に斬新アート

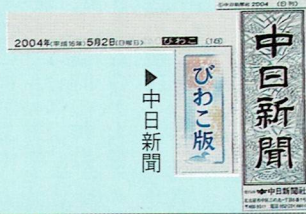


近江神宮の森の自然舞台に斬新アート

産経新聞



正式参拝の後楼門の前にて
佐藤久忠宮司様と共に



中外日報

近江神宮を舞台にいけばな競演
五月一日
近江神宮を舞台にいけばな競演
五月一日
近江神宮を舞台にいけばな競演
五月一日



さわやかな新風 生け花 家内彩の
野外観念展の作品
さわやかな新風 生け花 家内彩の
野外観念展の作品

花弁園芸新聞
近江神宮の森で
アート 野外現代いけばな展

花卉園芸新聞

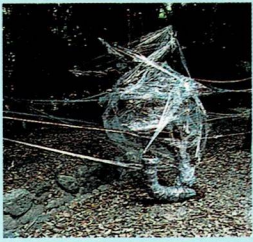
第1回 近江神宮の森 野外現代いけばな展
日本女性新聞
作家たちの概念が読み取れる花の場
森閑とした森の磁場に
日部府県から有名な出品

日本女性新聞

2004年(平成)5月1日 土曜日
ワイド 滋賀ニュース
自然の中で生け花展示
きょうから近江神宮
糸車や鏡使い 斬新
神にささげる原点に戻り

京都新聞

野の森 近江 現代 神宮 けばな 展
5/1(土) 5/5(水)
招待ハガキ



小 邑 理 晴



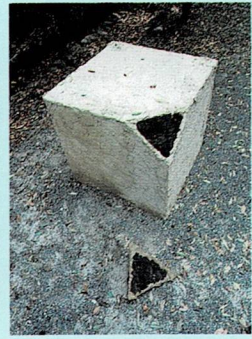
破 入 一 瑛



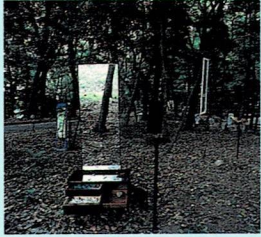
福 永 八 千 代



伊 東 豊 遊



橋 本 雅 史



平 間 磨 理 夫



阪 上 朝 甫



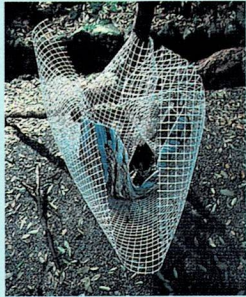
中 谷 小 百 合



石 井 健 治



安 田 知 子



林 有 為 子



山 本 修 子



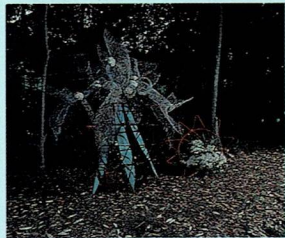
吉 川 芳 山



山 野 祐 子



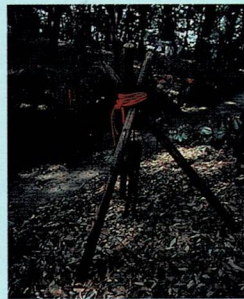
新 藤 華 浩



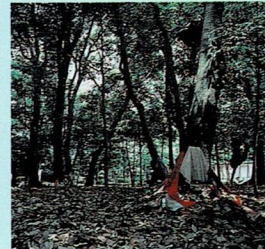
宮 本 恵 甫



寺 前 豊 久



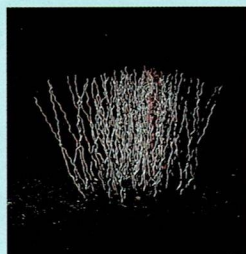
湯 川 章



滝 澤 洋 子



村 田 明 子



中 江 孝 子



伊 藤 庭 花



斉 藤 菜 穂



廣 野 ひ と み



榎 本 博 子 平 香 代

『伝統文化子ども教室』 平成十五年度終了

いけばな works にて昨年採択を受けました伝統文化子ども教室（東京都東久留米市立西中学校）は十一月より三月までの全十回、小中学生二十名の参加により開催されました。平均出席回数は八、二五回で二十名中二名が無欠席。助成金四四八、五一七円。受講者負担費用三、〇〇〇円×二十名計六〇、〇〇〇円にて事故なく終了致しましたのでご報告、ご紹介致します。（本実施報告書は、正会員の方には送料込み一、〇〇〇円にて実費配付いたします。本会すべての事業も同様に報告書を作成しております。但し、コピー頁はモノクロとさせていただきます。）



東久留米子ども教室風景

『伝統文化子ども教室』 平成十六年事業について

「いけばな works No.9」に全国のいけばな関係の採択について平成十五年度の掲載をさせて頂きました。その後平成十六年度事業も決定され、既に開始されている教室もあるようです。平成十五年度は、一次二次採択合わせていけばなの分野では四七七件の採択を受け、採択数が多い為二次採択教室は申請額の約半分の助成交付額によって開始されましたが、本年も申請数が約二倍、その中で十五年度実施教室を原則不採択にした様（十五年度に採択されていた不実施教室は採択された様）ですが、やはり予定数を越えた採択数（約二、〇二十ヶ所）の為、本年も減額採択となっています。うち、いけばな関係は約三二〇ヶ所以上にはのぼる様です。本NPOは前年申請実施の為、本年は不採択となりました（ご報告させて頂きます）。

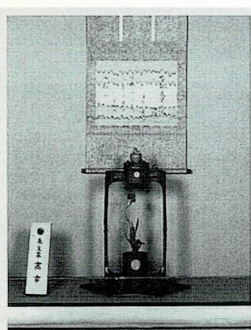
新企画

月刊『りぶる』新連載
～現在に活躍する華道家
フラワーアーティストたち～

本 works では、いけばなの広報、宣伝などを通じて様々な形で社会発信を行っておりますが、この度、自由民主党編集局発行の月刊女性誌『りぶる』（発行部数三十万部）月刊誌A B版八十二頁立ての誌面におきまして、いけばな・フラワーデザイナーを紹介する連載頁が決定致しました。標記のタイトルにて、全国の華道家やフラワーデザイナーの団体と代表者の作品をカラー一頁で紹介して参ります。本誌は女性のための政治・生活情報誌として、後援者や党员のみならず、大型書店（八重洲ブックセンター、三省堂本店、旭屋書店等）でも一般販売されており、発行部数三十万部を超える月刊誌です。本連載にて、様々な流派と作家を紹介することにより、様々なジャンルのいけばな・フラワーデザインを読者に認知して頂き、花を通じて日本文化活性化の一助となります様、展開して参りたいと思っております。本年十月号より二年間の予定にて連載開始。掲載要項等、詳しくは事務局まではお問合わせください。

現代に活躍する華道家・ フラワーアーティストたち

本誌は、現代に活躍する華道家・フラワーアーティストたちを紹介する。本誌は、現代に活躍する華道家・フラワーアーティストたちを紹介する。本誌は、現代に活躍する華道家・フラワーアーティストたちを紹介する。



「花の下の花」
作者：山本 浩一
花の下の花は、花の下の花。花の下の花は、花の下の花。花の下の花は、花の下の花。

第一回定期総会

開催さる

至平成十六年五月一日(出)、(勸天智聖徳文教財団 近江勤学館に於いて、特定非営利活動法人として初の定期総会を開催致しましたのでご報告申し上げます。審議事項と結果は次の通り。
(一) 議長選任は代表理事渡邊華靖を満場一致にて選出。
(二) 議事録署名人は和田高甫、杉崎宗雲 Jr. を選任、
(三) 平成十五年度の事業報告及び会計報告あり、満場一致で承認。今回は平成十五年十月十五日の設立より三月三十一日までの報告の為、年度途中よりの決算報告となりました。詳しくは省略。
(四) 平成十六年度の事業計画及び収支予算について、提案通り満場一致にて可決されました。詳しくは省略
以上開催され承認されましたことをご報告申し上げます。詳しく閲覧を希望されます方はお申し出下さい。

NPO いけばな works 十六年度会員 入会・継続のご案内

いけばな works は、流派・所属立場に関わりなくいけばなの社会発信を目的に平成十二年に設立されました。その後、いけばなの普及のため、会員のいけばなに関する情報誌『いけばな works No.9』の発行や、東京新聞主催「TAMA 玉川上水・二十一世紀の水脈展」の協力出品をはじめとして、「みどりの日記念野外現代いけばな展」を三年連続鎌倉宮で開催する等、公共の場で作品発表を行っています。また、一般の方にはいけばな体験やランチを通して、いけばなに広く触れる機会を提供する活動も行うと共に、いけばなを他には他に、産経新聞、中日日報、フロリスト等の作品連載を通じていけばなの社会発信に努めています。昨年十月には内閣府よりNPO法人(特定非営利活動法人)認定をうけ、より幅広い活動を目指しております。

本会では次のように会員を募集しております。本主旨にご賛同頂き、何卒御支援賜りたくお願い申し上げます。
(※本通則は会員以外の方にも送付させて頂いておりますので、出来れば御協力、ご参加頂きたく存じます。また、不要の方はお手数ですがお申し出下さい。)

【会費】 正会員 一万円
（年額）四月一日～三月三十一日
賛助会員 一口 一万円
（年額）四月一日～三月三十一日
通信会員 千円
（年額）四月一日～三月三十一日

【お申込】 同封の郵便振替用紙をご利用下さい。
〒162-0067 東京都新宿区富久町13-14
phone:03-3350-8757(代表) fax:03-3350-6638
http://www.pro-flora.com

株式会社 **益田屋**
花道具・茶道具・工芸専門店 毎週水曜日定休
懐石・海鮮割烹 **正芳庵**
益田屋3階 水曜日定休 電話03(3362)1176
〒169-8525 東京都新宿区百人町2-20-17
TEL 03(3362)3281(代) / FAX 03(3367)0948

プロフローラは、フラワーデザイナーのためのドライフラワー、プリザーブドフラワー、シルクフラワー、花器、デザイン資材のお店です。

PRO FLORA
有限会社 **プロフローラ**
〒162-0067 東京都新宿区富久町13-14
phone:03-3350-8757(代表) fax:03-3350-6638
http://www.pro-flora.com

連載 歴史研究 『いけばな流派』

昨年7月号より雑誌歴史研究(発行部数一萬部)月刊誌 A五版モノクロ二八頁立て)に連載しております『いけばな流派』も、丸一年を迎え好評連載中です。様々な流派が誌面に登場すること、読者に様々な流派を紹介すると共に、ご自身の御流儀の足跡を辿る良い資料ともなりまします。是非ともご賛同頂きご登場賜りたく、関係先の方の御協力をお願い申し上げます。これから、分野の壁を超え、あらゆる場にていけばなを紹介して参りたく思っております。

- 現在までに登場された流派は次の通りです。(予定も含む)
- 15年7月号 未生流 総家 創美流 華道
 - 9月号 華道 華道 華道 華道
 - 11月号 華道 華道 華道 華道
 - 16年1月号 華道 華道 華道 華道
 - 3月号 華道 華道 華道 華道
 - 5月号 華道 華道 華道 華道
 - 7月号 華道 華道 華道 華道
 - 9月号 華道 華道 華道 華道
 - 11月号 華道 華道 華道 華道
 - 17年1月号 華道 華道 華道 華道

連載 草土出版 フラワーショップ 『いけばなヌーベルヴァーク』

フラワーデザイナーや園芸家、花屋、花愛好家などに最新のトレンドスタイルを発信し続けている「フラワーショップ」(発行部数六万部)月刊誌 A四変形版 カラー一八〇頁立て)では、カラー見開き二頁でいけばな作家を毎月二名紹介しております。昨年まで連載してまいりました「フロリスト」では現代いけばな作家のみを紹介してまいりましたが、本誌では、伝統的なものから現代アートに通用するものまで、さまざまなスタイルのいけばなを紹介しております。本年一年間の連載予定ですが、誌面までお空気がございますのでご希望の先生は事務局までお問合せ下さい。掲載の先生方を、既刊・予定も合わせてご紹介いたします。

- 16年4月号 和山高甫(未生流 総家) 渡邊華靖(創美流 華道)
- 5月号 伊藤庭花(小原流) 岩田佳川(小原流)
- 6月号 寺田美恵子(竹青華道会) 福永八千代(小原流)
- 7月号 マッドジョンソン(アーツイスト) 山田高俊(大和花道)
- 8月号 木下岬雲(華道 華道) 岩淵成朋(成月流)
- 9月号 佐藤華明(道風流) 東 敦子(小原流)
- 10月号 手嶋敏和(いけばな 京花傳) 尾崎雅子(小原流)
- 11月号 小山法重(華道 華道) 山田高俊(大和花道)
- 12月号 生駒啓真(創美流 華道) 未定
- 17年1月号 松本 司(京都 未生流) 未定
- 2月号 塚越忠鐘(松風流 華道) 未定
- 3月号 未定 未定

※以上敬称略

連載 花卉園芸新聞 『紙上いけばなギャラリー』

花卉業界ではトップの購読率を誇り、生産者、市場関係者をはじめ、華道家やフラワーデザイナーまで幅広く読まれている「花卉園芸新聞」(発行部数三万部の全国紙 旬刊)では、昨年より「紙上いけばなギャラリー」として毎月一回、さまざまないけばな作品をモノクロ誌面にて紹介しております。本年は二年目として、さらに多くの作品を紹介して参りたく連載中です。本誌面はどなたでも参加出来ます。コメントを添えて作品を紹介致しますので是非とも発表の場として活用頂きたくご案内申し上げます。掲載の先生方を、既刊・予定も合わせてご紹介いたします。

- 15年4月号 和山高甫(未生流 総家)
- 5月号 木下岬雲(華道 華道)
- 6月号 岩淵成朋(成月流)
- 7月号 岩間美弓(いけばな作家)
- 8月号 青木育子(草月流)
- 9月号 上野理彰(古流 松藤会)
- 10月号 田中美代子(いけばな作家)
- 11月号 寺田美恵子(竹青華道会)
- 12月号 和田俊雪(龍生流)
- 16年1月号 丹野霞園(草月流)
- 2月号 マッドジョンソン(アーツイスト)
- 3月号 渡邊華靖(創美流 華道)
- 4月号 福永八千代(小原流)
- 5月号 芦田一寿(華道 遠州)
- 6月号 佐藤華明(道風流)
- 7月号 岡田一條(京葉 古流)
- 8月号 江原京子(小原流)

事務局より

皆様方のお陰をもちまして、『いけばなworks Note』もようやくカラーの小冊子として発行することが出来ましたことを、まずは感謝申し上げます。合わせて、今回の発行が遅くなりましたこと、お詫び申し上げます。

本会は超流派にて、いけばな業界のみにとどまらず、一般社会に発信してゆくNPO団体として活動を展開しております。一人一人の力を集結させることで、より広くいけばなの認知浸透を計り、社会の活力となつてゆくことを目的としてまいります。

発足から五年目となり、昨年ようやくNPO認定を受けましたが、営利団体ではない為、現在は独自に事務所を設けることも出来ず、創美流華道会館内に事務局を置いております。そのため、本団体が一つの流の主権団体のように受け取られ、残念な事ですが、警戒されることもしばしばありますが、全く違う組織団体でありますことを特筆させて頂きます。

『いけばな界に活力を』という気持ちは多くの方が抱えていることと思いますが、実際にどんな手法で社会に発信しているのか、模索しながら活動しております。やはりあらゆる切り口で根気良く魅せてゆくことが大事だと思っております。

歴史研究



歴史研究 創美流 華道

創美流 華道 創美流 華道

FLOWER SHOP

いけばなヌーベルヴァーク

紙上いけばなギャラリー

佐藤華明

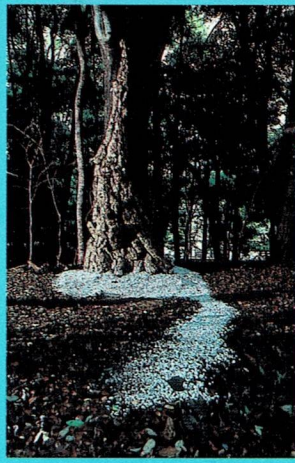
事務局サイドのみでは能力に限度がありますので、企画案や要望等ございましたら是非ともご提案下さい。皆様方の忌憚のないご意見を「Email」またはお電話、FAX等でお待ちしております。また、会の円滑運営のためにも多くの方々の力を借りたく、重ねて賛助の御協力をお願い申し上げます。

担当 山内瀬舟(やまうち こうしゅう) 事務局開設時間: 十時半~十八時半



松本博成

渡邊華靖



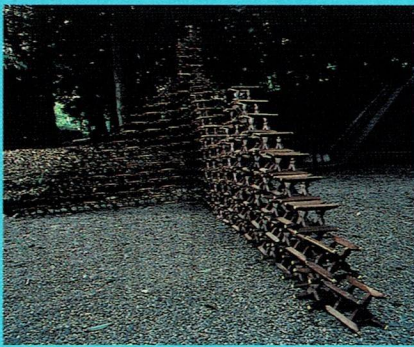
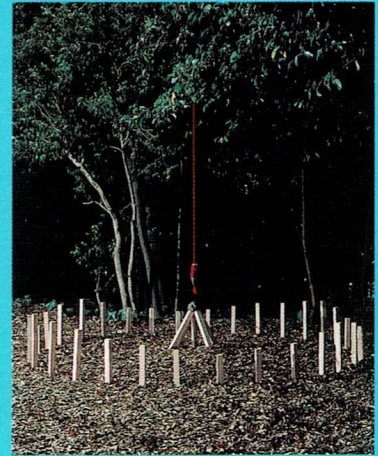
東敦子

保田カズミ



飯尾しづ子

和田俊雪



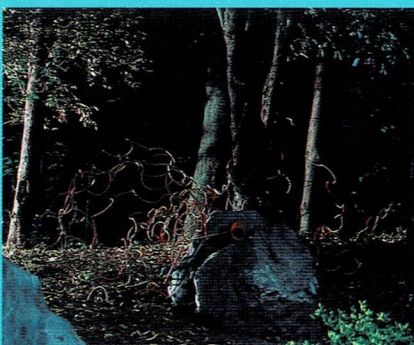
尾崎雅子



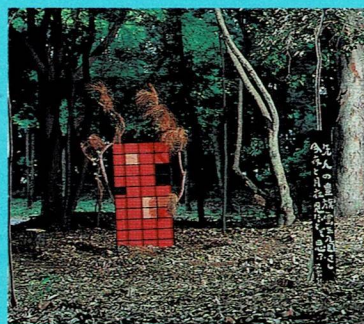
幸田充弘



岩間美弓



大吉昌山



杉崎宗雲 Jr.

近江神宮の森 野外現代いけばな展

主催 近江神宮、いけばなネットワーク21・東京
後援 産経新聞社、 京都新聞滋賀本社、
花卉園芸新聞社、日本女性新聞社、
 フブ湖放送、川-リスト